



発行 真宗大谷派 高山教務所
発行 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
(0577) 32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

親鸞にとつての六角堂

長田浩昭



〔略歴〕
一九六〇年石川県生まれ。京都
教区法伝寺住職。原子力行政を
問い直す宗教者の会事務局。著
書に『いのちを奪う原発』『原
発震災と私たち』(東本願寺出
版)等。

報恩講のシーズンを迎えるたびに思うことがある。それは、「私たちの教団は、親鸞聖人の生きざまを伝えてきたのだろうか」という問いであり、別言すれば「親鸞聖人の生きざまを歪めてきたものこそ、私たちの教団ではなかったか」という慚愧の念である。

あるご門徒から「親鸞さんは仏教者として初めて公に結婚した人ですよ」と聞かれたことがあった。確かに私も、教科書に同様の記述を目にしたことがある。しかし、親鸞聖人の生涯を「肉食妻帯」というところで特徴づけた教科書の、その根拠はどこにあるのかを私は知らない。ただ、今

知りうることは、吉水の同門にあり『唯信鈔』を著した聖覚や『一念多念分別事』を著した隆寛は、妻帯していたことが確認されている。さらに、吉水教団のみならず僧侶の妻帯については、中世も古代も枚挙にいとまがない。それにもかかわらず、《初めて、公に：》という言葉が出てくる背景には、親鸞聖人の六角堂での夢告の存在があるのではないか。

《初めて、公に：》という言葉を求めて六角堂へ足を運んだのか。また、その六角堂でどのような人々と出会ったのか。そのことが明らかにならない限り、夢告の意味を受け止めることなどではしれない。『本願寺聖人親鸞伝絵』(御伝鈔)では、六角堂へ足を運んだその課題については明らかにされてはいない。一方、高田派

に蔵する『親鸞聖人正明伝』には、聖人が京都への帰道、立ち寄った赤山明神での出来事が記されている。比叡山へ登ることを求めた一人の女性(功德天女)が、「山は女人禁制である」と答えた聖人を、「すべてを平等に救うという、み仏の慈悲にかなわないものだ」と問いつめるのである。その時聖人が抱えた課題とは、女人禁制を契機に問われた「一切衆生の救い」の具体性であったのだろう。そして正明伝は、「六角精舎へ百日の参籠いまだ満ざれば、怠なく毎日まいりたまふ。殊に建久九年の春、功德天女の告ありしも、いまだ不審はれざるを以なり」と、この赤山明神で投げかけられた課題が六角堂へ誘ったと明記されている。

また、御伝鈔(康永本)の絵伝「六角告命」段では、親鸞聖人がそこで出会った人々の姿はすべて消されて存在しないが、真宗仏光寺派・本山仏光寺に所蔵された『善信聖人親鸞伝絵』の「六角夢想」段には、聖人と六角堂で出会ったであろう人々の姿がデフォルメされ克明に残されている。それは、後に非人身分に

落とされていく猿回しであり、人間ではないと言われ顔を隠して生きた異形異類の人々であり、散切り頭の罪人であり、遊女等である。六角堂に集う人々とは、同じ命を賜りながら、同じ命として見られなかった悲しみを生きた人々だった。そして何よりも、その人々を見つめ続ける親鸞聖人の参籠の姿がある。ここにこそ、90年の生涯を貫いた親鸞聖人の生きる姿勢があったのだと思う。

そういう六角堂における参籠の中で受けた夢告が、「女犯」という一言によって聖人の妻帯の契機であるとされたならば、そこにどんな意味を見いだせようか。あまりにもお粗末な話ではないか。改めて夢告の文を見ると、「犯(犯すもの)」「被犯(犯されるもの)」という対語に眼が止まる。これは、「差別する者」と「差別される者」、「踏みつける者」と「踏みつけられる者」、「切り棄てる者」と「切り棄てられる者」といった人と人との関係である。聖人が六角堂で出会ったであろう人々は、まさに「被犯(犯されるもの)」「側にある者」の側にある聖人自身の

存在の事実を照らし出し、その人々の咨嗟(呻き、嘆き)の声の中に「一切衆生の救い」を願う諸仏の姿を見いだされたのではなからうか。覚如上人は御伝鈔・康永本作製の中で、六角堂から親鸞聖人が出会った人々を消し去り、「本願寺聖人」と表題を改めた。この時、私たちは親鸞聖人の生きざまを失ったのかもしれない。

工事完了御礼
このたび、2015年より進められてきた「高山別院本堂等御修復工事」が完了し、10月19日に施工業者である奥原建設株式会社から引き渡しを受けました。飛騨一円の門信徒の皆さまより多大なるご支援賜りましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。
11月1日の御本尊還座式以降、報恩講をはじめとする別院の仏事は本堂で執り行われますので、是非ご参拝ください。

お稚児さん 募集!
飛騨御坊では明年の御遠忌法要の際、稚児行列があります。そこでお稚児さんを募集いたします。
日程 2019年5月12日(日)
8時半集合 11時頃終了
集合 高山別院周辺寺院
対象 子ども(年齢制限なし)
冥加金 7,000円
※衣装レンタル代・記念品代込
申込期間 2018年11月12日午前9時
~2018年12月25日午後5時半まで
※定員に達し次第締切
申込方法 お手次のお寺までご連絡ください。

御本尊還座式
高山別院の耐震補強工事に伴い、仮本堂に安置されていたご本尊が本堂におかえりになります。
一生にあるかないかの御仏事、是非お立会いください。
期日 11月1日(木)
午前10時から

☎テレホン法話(0577)(34)2313 ☎10月21日~31日:細川寛氏「浄慶寺」 ☎11月1日~10日:三枝正尚氏「随縁寺」 ☎11月11日~20日:藤守博氏「一念寺」 宗教トラブルFAX相談窓口(0577)3210763

ひだご坊 報恩講

親鸞聖人の教えに
この私が出遇うための法要

定例法座・法話(午後1時から)

○10月28日(日)：細川

寛氏「浄慶寺」

題「ことばとなった御本尊」

○11月11日(日)：岩佐

幾代氏「浄永寺」

10月 31日 (水)	午後 7時	ご坊報恩講のつどい 「ダキシメルオモイ」 講演 小林 憲明 氏
11月 1日 (木)	午後 1時半	初逮夜 音楽法要 法話 松扉 等 氏
2日 (金)	午前 7時	晨朝 (お朝事) 法話 小原 正憲 氏
	午前 10時	日中 全飛門徒 物故者追弔会 法話 松扉 等 氏
3日 (土)	午後 1時半	大逮夜 同朋唱和 法話 松扉 等 氏
	午後 6時	御伝鈔拝読 第37回 別院真宗公開講座 法話 柳野 明仁 氏
3日 (土)	午前 7時	晨朝 (お朝事) 法話 三島 多聞 輪番
	午前 10時	帰敬式 (8時半) 報徳会・再建永代経 法話 松扉 等 氏
	午後 1時半	満日中



ご坊報恩講のつどい

ダキシメルオモイ ～受け継がれるオモイと願い～ 講演会

10月31日(水)午後7時～

チケット 1,000円 (学生無料)

高山別院もしくはお近くの真宗大谷派寺院にてお求めください

第一部 講演 小林憲明氏 (作家)

第二部 対談 小林憲明氏
五十嵐浩子氏 (福島県浪江町出身)

作品展示 10月30日(火)～11月4日(日)

会場 高山別院本堂 ※駐車場あり

小林 憲明

1974年新潟県生まれ(旧新津市)、愛知県田原市在住、二児の父親。15歳のとき、レンブラントの絵画に憧れ、画家の道に。2000年名古屋芸術大学 美術学部絵画科研究生修了。2006年結婚から家族をテーマにして描き始める。2012年6月故郷新潟の中越地震で何もできなかった後悔から、東日本大震災でダキシメルオモイプロジェクトを始動。2016年11月『ダキシメルオモイ』写真集発行。

同朋唱和のお勤め

「同朋唱和」とは正信偈・念仏・和讃を僧侶と門徒のへだてなく、皆でいっしょに声を出してお勤めすることをいいます。2019年の親鸞聖人御遠忌法要では、この同朋唱和でお勤めする座が設けられます。今年の報恩講でも2日の大逮夜に、真四句目下五淘でお勤めをしますので、『同朋唱和勤行集』(緑本)をお持ちの方は当日ご持参ください。いっしょにお勤めしましょう!

お齋 庫裡ホール

期 日 11月2日(金)・3日(土) 昼
お齋料 1,500円

ご坊名物大根汁(無料)

期 日 11月1日(木)～3日(土)
主 催 高山2組門徒会

フリーマーケット

期 日 11月1日(木)～3日(土)

抹茶接待(無料) 庫裡御殿

日 時 11月1日(木)
午前11時～午後3時
主 催 二木社中

玉翠会書道展 庫裡ホール

日 時 10月27日(土) 午前9時～午後5時
10月28日(日) 午前9時～午後3時

お浚え

報恩講翌日のお朝事です。ぜひお参りください。
日 時 11月4日(日) 午前7時

参拝送迎バス

11月2日・3日には別院報恩講参拝のためバスを運行します。乗車場所・時間等のお問い合わせ、お申し込みはお手次のお寺へお願いします。
【2日】白川村、荘川町、久々野町、一之宮町、飛騨市、国府町、朝日町、丹生川町
【3日】清見町、下之切町、山田町、下呂市

御遠忌讃仰 第37回真宗公開講座(全4回)

御遠忌法要は、親鸞聖人のご生涯を偲び、宗祖が伝えてくださったお念仏の教えを、現代を生きる私たち一人ひとりがいただきなおすという意味があります。教えに我が身を聞く聞法の場として、36年に亘って開かれてきた「別院真宗公開講座」を、今回は「親鸞聖人に会う」をテーマに「御遠忌讃仰真宗公開講座」として開催いたします。

テーマ「親鸞聖人に会う」

第1回 琵琶絵解き法話

日時 2018年11月2日(金) 午後6時
(『御伝鈔』後)

講師 柳野 明仁 氏 (岡崎教区本澄寺住職・三河すーぱー絵解き座座長)

大谷婦人会高山支部報恩講

日 時 11月11日(日) 午後1時から
会 場 高山別院 本堂
講 師 岩佐 幾代 氏 (浄永寺坊守)
※午後12時よりお齋があります。(1,000円)

ご回壇案内

【10月】21日(日) 了宗寺 [荘川町]
【11月】13日(火) 了泉寺 [鉄砲町]
18日(日) 東等寺 [冬頭町]
浄願寺 [丹生川町]